

## 文書が映す安曇野の文化⑪ 文書目録

文書館に収蔵されている資料は、整理後、すべて目録化され、「文書館文書管理検索システム」で検索することができます。目録には、資料名のほかに、文書が作成された年月日や作成者(出所)、文書の形態などを掲載しています。

目録がどのように作成されるかという、1点1点資料を見ながら必要な情報を目録カードに書き出していき作業から始まります。それが終わると、データベースに情報を入力し、目録が完成。資料を閲覧に供することができるようになります。手間と時間がかかる作業ですが、利用者の皆様が資料を探す一助になるのはもちろんのこと、資料の管理や保存の上でも重要な作業となります。

文書目録は、市ホームページに公開しており、どなたでも自由にご覧いただくことができます。また、一部の地域資料は、目録の冊子も作成しており、文書館はもちろんのこと市内の図書館でもご覧いただけます。代表的な資料の写真や解説も載っていますので、興味のある方はぜひ手に取ってみてください。



文書目録(文書館) →

<https://www.city.azumino.nagano.jp/site/bunsho/45083.html>



## 企画展等の予定

### ●バックヤードツアー

【日時】 令和6年2月25日(日) 13:30~15:00

【会場】 安曇野市文書館

### ●『三郷の宝』刊行記念展示

【期間】 令和6年1月14日(日)~3月31日(日)

【会場】 安曇野市文書館閲覧コーナー

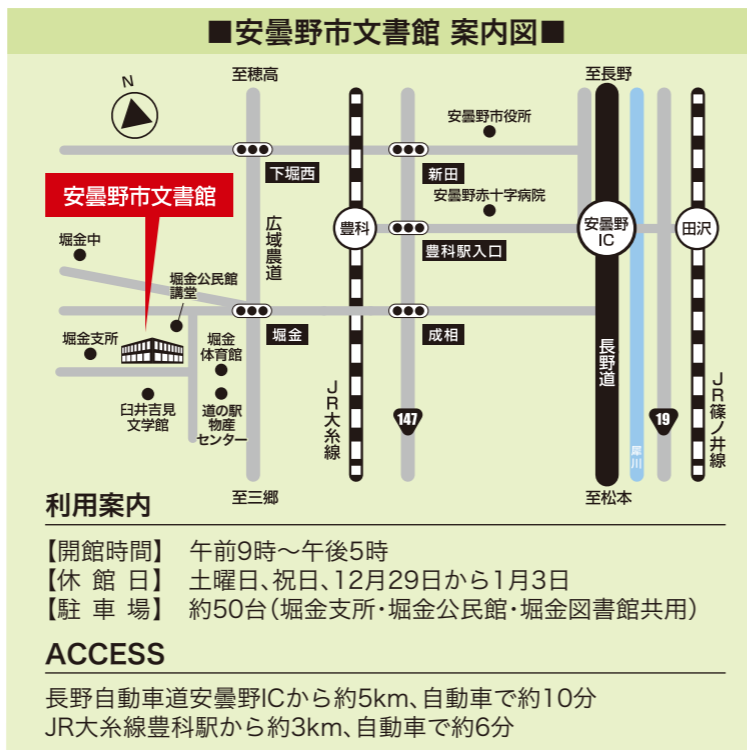
### ●令和6年度企画展

前期企画展「今に繋ぎ、伝えてきた区の史実」

【期間】 5月12日(日)~8月30日(金)

後期企画展「小説『安曇野』発刊50年」

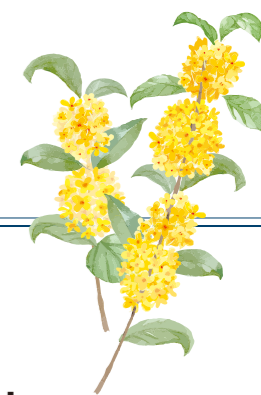
【期間】 9月15日(日)~12月27日(金)



あとがき 開館から5年を数えます。片手で数えられる年数ですが、当館の運営に深く関わってくださった3名の方が鬼籍に入られました。当館の収蔵資料のみならず、市域の地域資料の防災についてご助言をいただいた運営審議会委員高原正文氏(令和3年)。開館に向け、有形無形すべての手ほどきを受けた業務検討委員会会長・運営審議会会長小松芳郎氏(令和4年)。近現代史の中で人物顕彰を位置づけることの価値について市民に語りかけた講演会講師上條宏之氏(令和5年)。ご冥福をお祈りいたします。

# 安曇野市 文書館だより

## 第11号



### 後期企画展

## 安曇野市文書館開館5周年記念 「受け継がれる地域資料」

### 企画展趣旨

安曇野市では、安曇野市域に関する古文書等の「地域資料」の調査・整理作業を、平成21年度から進めており、今年で14年目となります。安曇野市文書館が開館してからは、資料の受け入れを行っており、古文書をはじめ、絵図や古写真、映像資料など多くの種類の資料が収蔵されています。これらは、市内外の多くの方から寄贈・寄託していただいたもので、整理後、公開しています。



文書館には約8万点の資料が収蔵されています。

今回の展示では、地域資料調査の歩みを振り返るとともに、受入から公開までの過程を紹介し、文書館で地域資料を収集する意義を考える機会とします。また、開館5周年を記念し、文書館収蔵資料の中から新たに発見された資料や代表的な資料を紹介します。

期 間：令和5年9月14日(木)~12月28日(木)

会 場：安曇野市文書館1階閲覧コーナー

入館料：無料

### 講演会 「地域歴史資料保全の現状と課題 —地域の歴史と文化は遺せるか—」

【日 時】 10月22日(日) 13:30~15:00

【講 師】 西村 慎太郎 氏(国文学研究資料館)

【申 込】 9月25日(月)~

### 講 座 「里山の観音信仰—古文書にみる栗尾山満願寺の心象風景—」

【日 時】 9月24日(日) 13:30~15:00

【講 師】 逸見 大悟(文化課博物館担当職員)

【申 込】 8月28日(月)~

### 講 座 「在方から見た松本大変—松本藩主交代劇—」

【日 時】 11月19日(日) 13:30~15:00

【講 師】 丸山 潔(文書館職員)

【申 込】 10月23日(月)~

### <講演会・講座 共通事項>

参加費 無料

会 場 安曇野市  
堀金公民館講堂

事前申込 必要  
(電話、FAX、メール)





# 数字で見るこの5年

前号では、利用者数の推移について紹介しました。今号では、収蔵資料の推移やその内容について数値で紹介します。令和4年度末現在の収蔵資料点数は、公文書67,231点、地域資料79,174点、合計146,405点になります。平成30年10月1日開館時59,117点であった資料は、この5年間で約2.5倍となりました。

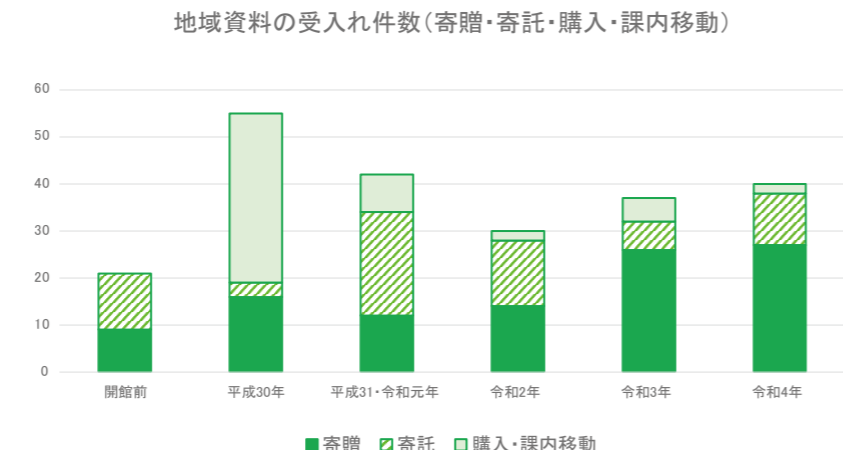
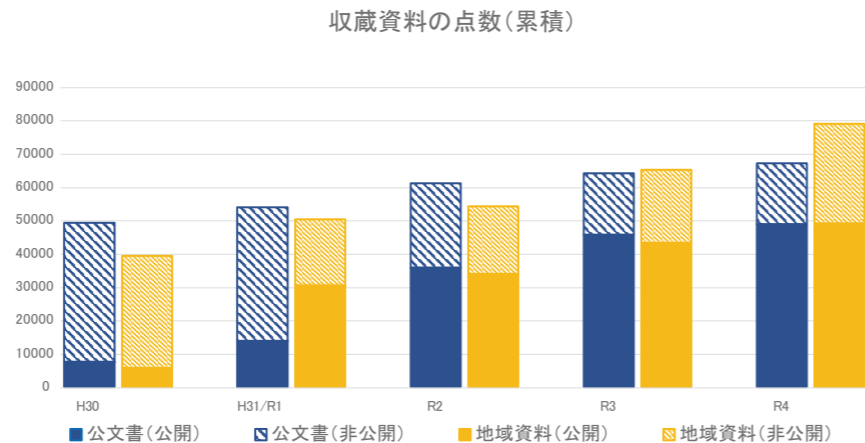
## 1 資料点数の推移

この5年間、毎年15,000点ずつ収蔵資料数が増加していることがわかります。公文書は、毎年3,000点程度が移管(歴史的な文書として文書館に保管)されています。ちなみに公文書は毎年100,000点程度が作成されます。約3%の文書が歴史的な文書となっていることとなります。地域資料(各家庭や区などから寄贈又は、寄託された資料)の受入れ件数は、毎年30~40件で安定しています。

収蔵資料点数の増加と併せて、公開点数も増加しています。ただし、公開率を見ると、地域資料は低く、60%弱となっています。受入れ資料の目録作りや撮影といった資料整理に手間と時間がかかることが、公開率の伸び悩みの主な要因となっています。

## 2 地域資料の受入れ

寄託と寄贈の件数は、ほぼ同程度となっていますが、近年寄贈の割合が増加しています。また、寄託であっても原本を文書館で預かってほしいという所有者も増えています。各家庭や区等で大切に保管されてきた古文書などの資料を、地域共有の財産として大切にしたいという考え方が広がっていると感じています。課内移動とは、文書館が開設されたことにより、以前まで豊科郷土博物館や図書館等に収蔵されていた地域資料の収蔵場所を文書館に替えることです。文書館への収蔵資料の移動により、各施設の収蔵庫の整理が進みました。



# ミニ・バックヤードツアー！ 文書館の書庫をご案内



文書館の業務の1つに「重要文書等の保存」があります。館内案内図を見ると、文書館の半分以上のスペースが書庫となっています。文書館に収蔵されている資料はすべてこの書庫で保存しており、まさに書庫は文書館の心臓部と言えるでしょう。また、「安曇野市文書館条例施行規則」には、次のように記載されています。

**(重要文書等の保存)**

第6条 教育委員会は、重要文書等を適正に保存するため、次の措置を講ずるものとする。  
 (1) 特に必要があると認める場合を除き、文書館の職員以外の者を書庫に立ち入らせないこと。  
 (2) 常に書庫内の通気、防湿等に注意し、重要文書等の損傷の防止に努めること。

このように、通常は一般の利用者の方は書庫内に入ることはできませんが、書庫の内部がどんな様子になっているのか、ミニ・バックヤードツアーと題して、文書館の書庫を簡単に紹介します。まずは1階にある書庫です。こちらには、安曇野市および旧5町村(豊科町・穂高町・三郷村・堀金村・明科町)で作成された「公文書」や、市内に17ある小中学校で作成された「学校資料」が収蔵されています。資料には、1点1点登録番号がふられ、封筒に入れ保管しています。地域ごと、学校ごとに棚が分かれており、利用申請があった際には該当の文書を取り出し、審査後、閲覧に供しています。



そして、2階の書庫には、古文書や古写真等の市内外の方から寄贈・寄託された資料である「地域資料」を保管しています。資料の形状により異なりますが中性紙の封筒に資料を入れ、もんじょ箱と呼ばれる中性紙でできた専用の箱に入れ、保管しています。書庫内の温湿度も最適な状態に保ち、カビや虫の発生を抑えています。また、地域資料は、閲覧による資料の劣化を防ぐため、デジタルカメラで撮影を行い、文書館にあるパソコン上で見られるように作業を進めています。文書館に収蔵されている資料は、ほとんどがその1点しか存在しない大切なものです。文書を適切に保存し、後世に伝えていくのも文書館の重要な役割の1つです。

**令和5年度  
バックヤードツアー  
～文書館って  
何するところ?～  
を開催します!**

<b>日時</b>	令和6年2月25日(日) 13:30~15:00
<b>場所</b>	安曇野市文書館
<b>参加費</b>	無料 定員 15人(先着順)
<b>申込方法</b>	令和6年1月頃に広報あづみの及び市ホームページでお知らせします。

文書館の利用方法や収蔵資料を紹介するほか、普段は入ることができない書庫をご案内します。ご興味のある方はぜひご参加ください。